

眼鏡リサイクルプロジェクト

収集から配布まで



眼鏡リサイクルを始めた理由

- 眼鏡が欲しくても買えない人たちが世界で8億人いる。
- 私達の回収眼鏡が仙台のリサイクルセンターに¥50/1本で引き取られた後、どこの国のどんな人たちに配布されたのか知りたい
- 回収された眼鏡の約5%は廃棄となる。その廃棄分にも¥50が発生する)
- 城阪国際理事からMD335又は335-D地区で眼鏡リサイクル事業を頑張っで欲しいと激励

回収活動

なぜ中古眼鏡の収集活動をしているのか説明する。

最寄りの学校・病院等公的機関にリサイクルボックス設置をお願いする。

地元の眼鏡販売店が引き取った中古眼鏡を譲り受けるよう交渉。

(このとき出来れば近視・遠視・累進・子供用・サングラスの仕分けをお願いする。)

リサイクルボックスの中身を定期的に回収する。

配布先のお尋ねがあれば配布先と理由を丁寧に説明する。

回収された眼鏡

複合4地区で集められた眼鏡
(写真の一部)

提携眼鏡メーカーの回収眼鏡
(ビジョンメガネ様)



眼鏡の洗浄(一回目)

超音波洗浄機にて
約30本を30分洗浄



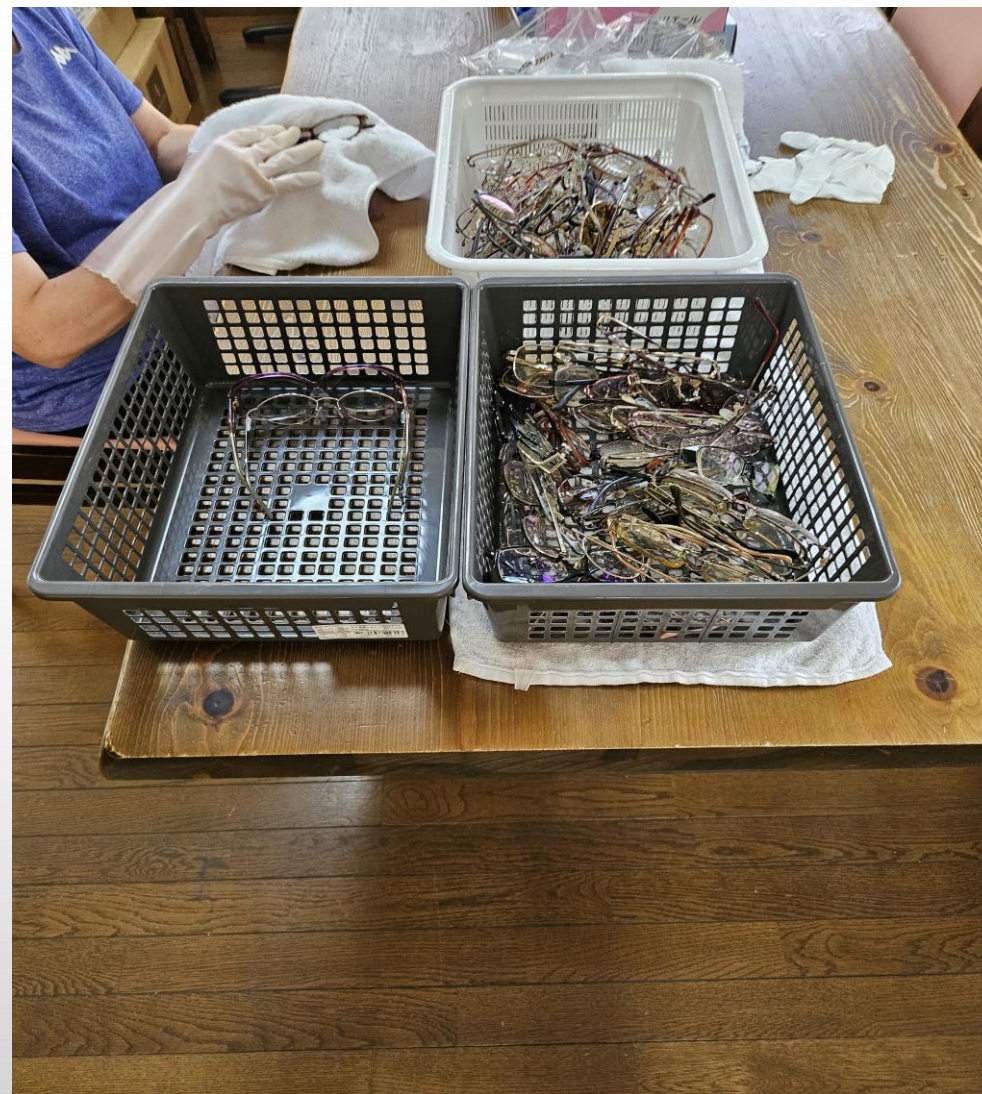
洗浄(二回目)

中性洗剤によりさらに洗浄する



洗浄後の拭き取り作業

一本一本丁寧に水分を拭き取る





フジピクシ製 レンズ測定器



拭き取り後一本々測定





個包装用袋



包装作業



測定値を貼る



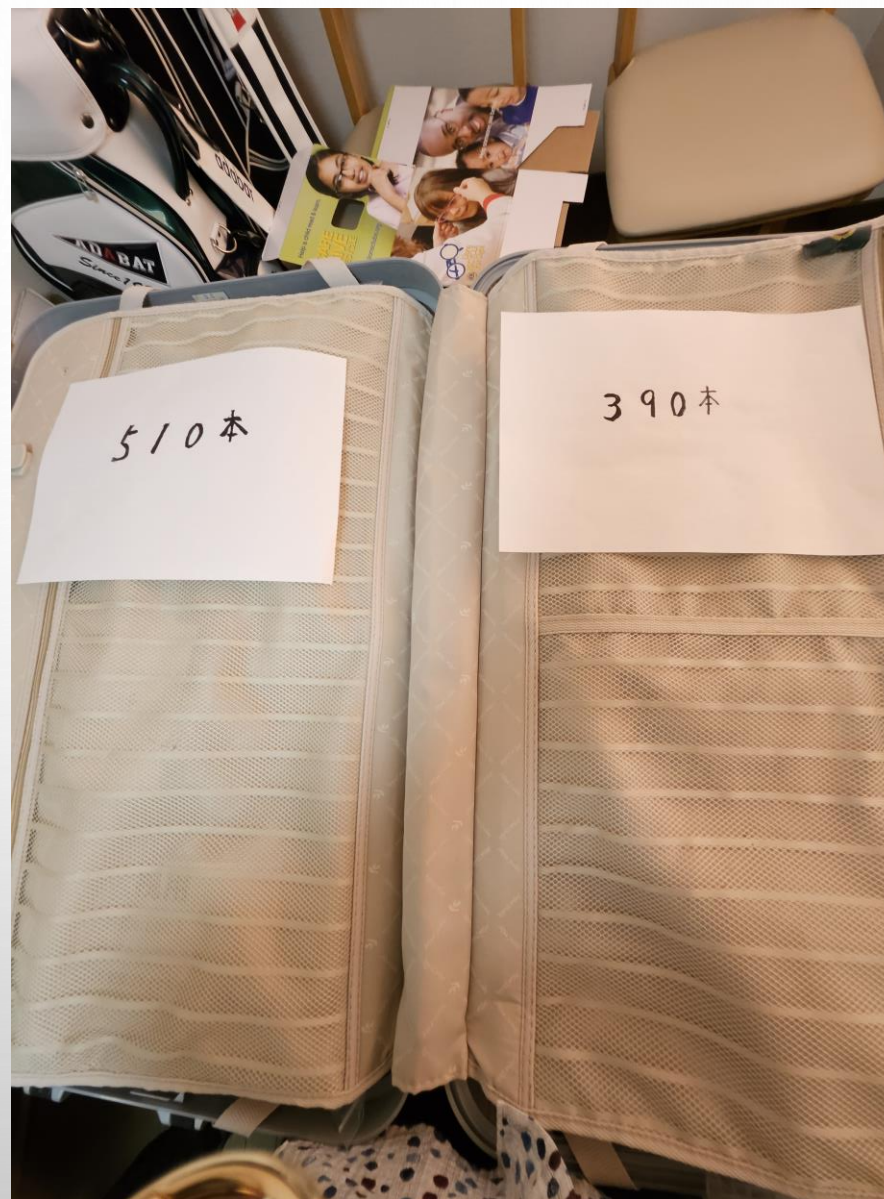
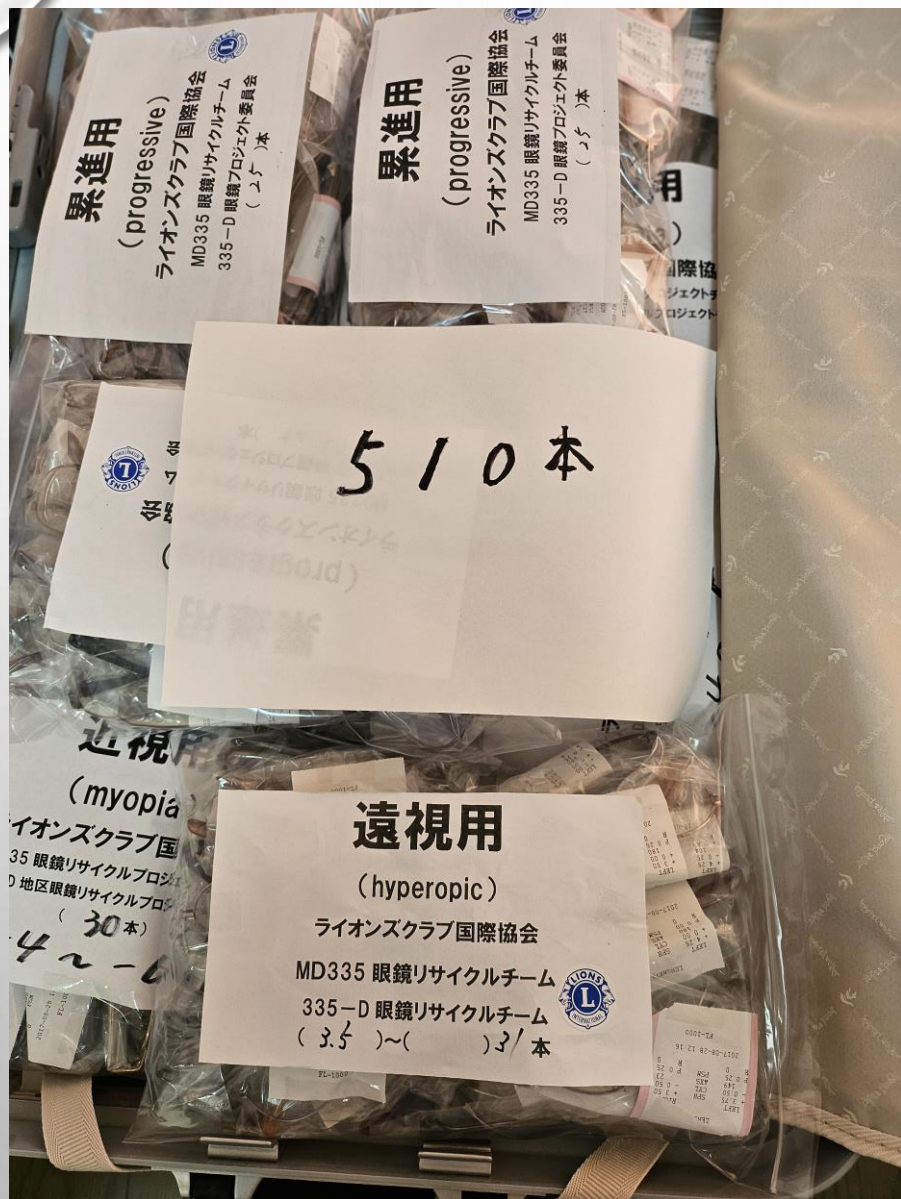
小袋に入れる



30本の袋詰め







いざ！カンボジアへ



遠視用眼鏡とサングラスの配布

現地の皆様は直に着用して調整。





作業にサングラスが役立つ



視力測定器



待合



簡易測定



検査待ちの人達



測定待ち



MD335提供の眼鏡



MD335配布の眼鏡と有志提供のボールペン



マッチングしました



土産のボールペン



L.鬼一二三(国際日本文化学園園長)と 増本コーディネーター



懇親会



シェムリアップ・アンコールワットLCと集合写真



アンコールワット共生病院

病院の日本人スタッフおよび

共生病院日本の先生と私達

系列孤児院の先生(右端)



シェムリアップアンコールワットLC会長 SO PEN

